

令和3年度

事業報告

社会福祉法人平泉町社会福祉協議会

令和3年度事業報告

長引く新型コロナウイルスの感染拡大により、令和3年度も厳しい環境下で事業を縮小・中止をしなければなりませんでした。感染防止対策を講じながら、2年振りに「平泉町社会福祉大会」が開催でき、新規事業として「地域福祉懇談会」を実施、また各種研修会を行うことができました。

訪問介護事業所ではヘルパーがご自宅を訪問し、要介護、要支援、障がい者の方々が住み慣れた我が家で安心して生活が送れるように家事援助、身体介護等の日常生活のサポートをいたしました。

コロナ禍において急増する各種相談に伴い、貸付の対応やフードポストの周知の強化、生活困窮者への支援活動を行いました。

依然として厳しい状況ではありますが、改めて地域のつながりを基盤とした「地域づくり」がいかに重要であるか再認識しましたが、これまでの取組が十分に発揮できたか課題も見えた年でもありました。

1. 会議の開催状況

(1) 理事会

【第1回理事会】

令和3年6月2日

- ・ 令和2年度事業報告について
- ・ 令和2年度会計決算について
- ・ 社会福祉法人平泉町社会福祉協議会理事候補者及び監事候補者の決定について
- ・ 社会福祉法人平泉町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選出について
- ・ 社会福祉法人平泉町社会福祉協議会評議員候補者の推薦について
- ・ 社会福祉法人平泉町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催について
- ・ 令和3年度定時評議員会の開催について

【第2回理事会】

令和3年6月24日

- ・ 社会福祉法人平泉町社会福祉協議会会長及び副会長の選定について
- ・ 社会福祉法人平泉町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について

【第3回理事会】

令和3年8月31日

- ・ 第28回平泉町社会福祉大会について

【第4回理事会】

令和3年10月14日

- ・ 第28回平泉町社会福祉大会について
- ・ 社会福祉法人平泉町社会福祉協議会経営基盤強化対策プロジェクトチーム構成員の選出について

【第5回理事会】

令和4年3月17日

- ・ 令和4年度補助金要望と結果
- ・ 社会福祉法人平泉町社会福祉協議会準職員就業規則の一部改定について
- ・ 社会福祉法人平泉町社会福祉協議会私有車業務使用規程の一部改定について
- ・ 社会福祉法人平泉町社会福祉協議会福祉有償運送ボランティア事業実施要綱の一部改定について
- ・ 平泉町社会福祉大会の通年開催について
- ・ 社会福祉法人平泉町社会福祉協議会経営基盤強化対策プロジェクトチームの活動休止について
- ・ 令和3年度会計第一次補正予算について
- ・ 令和4年度事業計画(案)について
- ・ 令和4年度会計予算(案)について
- ・ 令和3年度第2回評議員会の開催について
- ・ 人事について

(2) 評議員会

【第1回定時評議員会】

令和3年6月21日

- ・ 令和2年度事業報告について
- ・ 令和2年度会計決算について
- ・ 社会福祉法人平泉町社会福祉協議会理事及び監事の選任について

【第2回評議員会】

令和4年3月29日

- ・ 令和4年度補助金要望と結果
- ・ 社会福祉法人平泉町社会福祉協議会準職員就業規則の一部改定について
- ・ 社会福祉法人平泉町社会福祉協議会私有車業務使用規程の一部改定

について

- ・ 社会福祉法人平泉町社会福祉協議会福祉有償運送ボランティア事業実施要綱の一部改定について
- ・ 平泉町社会福祉大会の通年開催について
- ・ 社会福祉法人平泉町社会福祉協議会経営基盤強化対策プロジェクトチームの活動休止について
- ・ 事務局長の採用について
- ・ 令和3年度会計第1次補正予算について
- ・ 令和4年度事業計画（案）について
- ・ 令和4年度会計予算（案）について

(3) 監査会

【定期監査】

- ・ 決算監査(令和2年度分) 5月27日
- ・ 第1四半期出納監査 8月26日
- ・ 第2四半期出納監査 11月29日
- ・ 第3四半期出納監査 令和4年2月24日

(4) 経営基盤強化対策プロジェクトチーム

構成人員：理事2名、評議員1名、局長、次長

- ・ 第1回 令和4年3月2日

2. 企画・運営事業

(1) 広報活動事業

- ① 社協だより発行（共同募金配分金事業・249,480円）
・年3回（5、9、1月）発行 各2,800部 全戸配布
- ② ホームページの更新（132,000円）
・年7回更新し、多くの情報を提供した。

(2) 第28回平泉町社会福祉大会（共同募金配分金事業・60,892円）

- ・開催日 令和3年11月10日(水)
- ・会場 平泉町役場 201会議室
- ・参加者 行政及び社会福祉関係者、被表彰者、児童生徒
- ・実施内容
・表彰 社会福祉事業功労者（7名）
ボランティア活動功労者（2団体）

永年勤続功労者 (2名)

共同募金運動功労者 (2名)

褒賞 (3名)

感謝状 (3名)

・児童生徒による福祉体験発表

平泉小学校、長島小学校・平泉中学校 (計3名)

(3) 地域福祉懇談会

平泉町社会福祉協議会の役割並びに活動状況を住民に広く知っていただき、地域住民の福祉ニーズを把握して地域福祉活動推進計画に反映することを目的とし開催しました。

・平泉地区開催日時 令和3年10月20日(水) 18時30分～20時

会場 平泉町役場 201会議室

参加者 23名

・長島地区開催日時 令和3年11月19日(金) 18時30分～20時

会場 平泉町公民館 長島分館

参加者 44名

○第11区町内会より「協力組織交流懇談会」の地域づくり学習会での講演講師依頼があり職員が出席しました。

開催日時 令和3年11月26日(金) 18時30分～20時

会場 第11区公民館

参加者 ・第11区地域内で活動されている団体の代表者・担当者 27名

・社協職員 5名

3. 福祉活動センター（アピュイ）の運営事業

(1) 地域子育て支援センター拠点事業（平泉町補助金・4,000,000円）

① 子育て親子の交流の場の提供

アピュイの遊戯室を平日9時から16時30分まで開放し、子育て家庭の親子（乳幼児）が気軽に交流し自由に遊べる場を提供しました。

年間利用者数 延べ 403名

② 子育て等に関する相談・援助の実施

子育てに関する悩みや不安の相談に子育て支援アドバイザーが対応しました。

窓口開催日時 毎週2日（火曜日、木曜日）10:00～16:00

相談件数 92件

③ 親子参加のイベント・講習会の実施

季節に合ったイベントや救急法講習会など、感染対策を行いながら実施しました。

年間件数 10回

参加者 延べ25組 83名

(2) 貸館事業

平泉町内または近隣の市町に居住する住民相互で構成し、営利を伴わない団体に会議室、相談室を低額で貸し出しました。

年間利用者数 延べ 1,973名

4. 地域福祉活動事業

(1) 福祉有償運送事業（共同募金配分金事業・350,133円）

介護を必要とする高齢者や障がい者など、公共交通機関を利用して移動することが困難な方に通院などを有償で行う移送サービスです。

移送ボランティア数 13名（令和4年3月31日現在）

登録利用者数 35名（ ” ” ）

年間利用者数 延べ 180名

(2) 訪問給食サービス事業（平泉町受託事業受託金・767,200円）

高齢者や障がい者で食事の料理が困難な方に昼食のお弁当を配達するとともに、利用者の安否確認を行うサービスです。

利用者数 7名（令和4年3月31日現在）

※月平均利用者数 9.7名

年間配達食数 2,192食

(3) ふれあいサロン事業（共同配分金事業助成金19地区×25,000円
1地区×23,724円）

地域住民が主体となって、地域住民の支え合いを強化し、高齢者の見守りを兼ねた引きこもり予防を目的とした活動で、健康相談員が血压測定等の健康相談等に努めました。

・開催地区 16行政区

・開催回数 35回（昨年度32回）

・参加人数 延べ466人（同 428人）

- ・ボランティアスタッフ人数 延べ311人(同 181人)
- ・活動内容 血圧測定、健康相談、講話、体操、季節の行事、温泉、鑑賞、ゲーム、レクリエーション、生きがい活動、講演会、笑いヨガ。

(4) 敬老の日事業 (共同募金配分金事業・134,000円)

新型コロナウイルス感染防止のため敬老会は中止となったが、最高齢者(男女各1名)、満百歳(3名)、満八十八歳(62名)の方にお祝い品を贈呈しました。

(5) ほほえみカフェ平泉事業(平泉町受託事業受託金・45,806円)

認知症になっても住み慣れた地域で安心して尊厳のあるその人らしい生活を継続することができるよう、認知症の人とその家族、地域住民、専門職等のだれもが集うことができる認知症カフェ(ほほえみカフェ平泉)事業を平泉町から委託を受けて運営しました。

- ・開催場所 社会福祉協議会 福祉活動センターアピュイ会議室
- ・開催回数 9回(毎月1回、9月、2月、3月は新型コロナウイルス感染防止のため中止)
- ・参加者数 延べ120人(昨年度109人)
- ・主な内容
 - ・ミニ講話 一関西部地域包括支援センター菅原恵美氏
 - ・講演「尿もれ予防」
講師 ひらいずみ包括支援センター所長 千葉礼子氏
「口腔ケア」
講師 歯科衛生士 千葉裕子氏
 - ・ユニット折り紙
講師 千葉静恵氏、千葉一代氏
 - ・レクリエーション
講師 奥州市レクリエーション協会 千葉正道氏
 - ・歌、指体操、じゃんけんゲーム等

(6) サマーボランティアスクール事業

(共同募金配分金事業・事業費30,720円、感想文集113,773円)

町内小中学生の夏休み期間を利用して福祉及び介護施設において、施設利用者とのコミュニケーションを通して思いやりの心を育て、豊かな人間性を培うことを目的として開催。また、身近な福祉について学ぶ場として出前事業を行い、福祉の心を育むきっかけの一つになればよいと考えてお

り、毎年開催している事業であります。

今年度は新型コロナウイルス感染防止のため高齢者施設での開催は見送り、障害者支援施設黄金荘をはじめ、アピュイ、平泉小学校、長島小学校及び平泉中学校にて、感染対策を講じた上で、時間短縮をして開催するなど工夫をして実施しました。

「平泉町社会福祉大会」において、代表者による感想発表をしていただいた。また、参加者全員の感想文を冊子にして関係者に配布しました。

・内容

◆高齢者疑似体験

白内障、視野狭窄を体験する特殊メガネ、関節の動きにくさや筋力低下を体験するために手足に重りやサポーターを装着してもらい、高齢者の変化するからだとそれに伴う心の変化について学習します。

◆車いす、福祉車両試乗体験

実際に試乗し、介護される方の気持ちや介護される側の接し方について学習します。

○令和3年7月29日

参加者：平泉小学校5～6年生 10名

場 所：平泉小学校体育館、校庭

○令和3年8月2日

参加者：平泉中学校1～3年生 15名

場 所：障害者支援施設 黄金荘

○令和3年8月4日

参加者：平泉中学校1～3年生 13名

場 所：福祉活動センターアピュイ

○令和3年9月27日

参加者：長島小学校3年生 13名

場 所：長島小学校体育館・校庭

○令和3年10月4日

参加者：平泉小学校4年生19名（A組）

場 所：平泉小学校体育館・校庭

○令和3年10月6日

参加者：平泉小学校4年生20名（B組）

場 所：平泉小学校体育館・校庭

※全コース計延べ90名参加

(7) 災害ボランティア設置運営訓練関連事業

(共同募金配分金事業 113,072円)

災害発生の際に、地域を支える災害ボランティアを要請し、誰もが住み慣れた地域に安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを目指すことを目的に、「災害支援基礎研修会」を開催しました。

○研修会の開催

- ・日 時 令和3年11月20日(土)
- ・場 所 平泉町役場 201会議室
- ・参加者 行政及び社会福祉関係者(26名)
- ・実施内容
 - ・講話 「災害支援基礎研修会」(演習を含む)
 - ・講師 特定非営利活動法人やませデザイン会議
防災士 大向 昌彦 氏

5. 生活支援事業

(1) 平泉成年後見センター事業(法人後見)

成年後見制度に関する広報、啓発活動や制度に関する相談への対応を行いました。

- ① 成年後見相談 (開催日:月1回)
相談件数 32件 取扱件数 32件
- ② 盛岡家庭裁判所(一関)と連携、保佐人、成年後見業務を行う
法定後見人受任件数 4件
訪問回数 後見人20回、保佐人44回
- ③ 研修会の開催 (共同募金配分金事業・41,221円)
 - ・日 時 令和4年1月21日 13:30~16:30
 - ・場 所 平泉町役場 201会議室
 - ・参加者 行政及び社会福祉関係者 (28名)
 - ・実施内容
 - ・講演 「権利擁護支援の地域連携と成年後見制度」
 - ・講師 一般社団法人岩手県社会福祉会
権利擁護センターぱあとなあ岩手
運営委員長 白畑 勇氏

(2) 生活困窮者自立支援事業 (平泉町補助金・3,000,000円)

福祉、生活にかかわるあらゆるニーズを受け止め、専門機関と連携を進め、必要なサービスを提供し、課題解決をめざすことで、生活保護に至る前の低所得者対策の充実強化事業。生活困窮状態からの早期の自立を支援します。

① なやみごと解決センターふくし相談所の開設

専門員を配置して毎月実施。

- ・ふくし相談（開設日：毎週水曜日）

窓口開催数 26回 相談者 延べ26人

- ・法律相談（開設日：月1回の予約制）

窓口相談 6回 相談者 延べ6人

- ・健康相談

開催数 2回 対象者 延べ40人

（ふれあいサロンの中での血圧測定等を含む）

- ・障がい相談（開設日：月1回）

窓口開催数 8回 相談者 延べ8人

※なやみごと解決センターふくし相談所周知パンフレット作成。

（全戸及び関係機関等へ配布）

※生活困窮者自立支援事業パンフレット作成。

（関係機関等へ配布）

② 生活困窮者自立支援事業講演会

令和4年2月10日に認定特定非営利活動法人インクルいわて理事長山屋理恵氏を講師に「子育て支援と地域づくり」と題して講演会を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し中止としました。

③食料支援事業

生活困窮者への食料支援事業の取組として「フードバンクポスト」をアピユイ玄関前に設置し、NPO法人フードバンク岩手と提携しながらフードドライブ事業を行いました。個々の家庭において消費できなかった食品などを寄贈してもらい、生活困窮者へ提供をし、あるいは地域の福祉団体などへ寄付を行うなど地域ぐるみで福祉活動を推進した。新聞、ラジオ、ホームページ、社協だよりへの掲載等で周知をしました。

また、岩手県共同募金会より235,000円の助成を受け、コロナ禍における生活困窮者及びひとり親世帯を対象としたフードパントリーを実施し、31世帯に食料を配布しました。

さらに、子ども支援として「子ども子育て応援定期便」を実施し、4世帯に、定期的に食料を提供するとともに、顔の見える関係づくりに取り組みました。

○フードポスト設置受付数

- ・受付件数 157件

- ・受付食料品 レトルト食品 144個 乾麺 210個
調味料 245個 飲料 91個 缶詰 264個
菓子 175個 インスタント食品 809個
米 1,190kg その他 255個
- ・受付数量 1,906kg
- ・提供件数 22件（子ども子育て応援定期便以外）

(3) たすけあい金庫貸付事業

療養または緊急の出費で、一時的に日常生活に支障のある方に応急的なつなぎ資金として無利子で貸し付けを行っています。（限度額50,000円）

貸付相談件数 56件（他貸付事業につないだケース含む）
新規貸付件数 0件
完済件数 4件※

※うち、1件については、本人（借受人）死亡しており、それに伴い相続が発生するも、相続人は相続放棄しているため、たすけあい金庫金運営要綱第7条により、償却しました。

(4) 生活福祉資金貸付事業

岩手県社会福祉協議会を実施主体とし、相談窓口を当協議会とする公的な貸付制度。低所得世帯や障がい者世帯など他の貸付制度が利用できない世帯に資金貸し付けを行いました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により休業や失業等によって収入が減少し、生活資金の必要な方に対して、緊急小口資金、総合支援資金の特例貸付を行いました。

貸付相談件数 56件（他貸付事業につないだケース含む）
新規貸付件数 23件 { 緊急小口資金 11件 2,200,000円
総合支援資金 12件 4,600,000円

(5) 歳末たすけあい運動（共同募金配分金事業・443,000円）

要援護世帯への見舞金支給、高齢者・福祉施設には入所者を対象とした行事開催経費として支援、また障がい者福祉団体へ活動資金を交付しました。

- ・在宅者配分（見舞金は在宅者一世帯あたり2,000円を贈呈）

生活困窮世帯 13件
ひとり暮らし老人 77件
老人夫婦世帯 28件
母子・父子世帯 20件

| | | |
|-----------|------|----------|
| 介護を要するものが | | |
| いる世帯 | 36件 | |
| 合計 | 174件 | 348,000円 |
| ・施設配分 | 4件 | 85,000円 |
| ・団体配分 | 1件 | 10,000円 |
| 合計 | 179件 | 443,000円 |

6. 各種団体への協力援助事業

(1) ボランティア活動事業

(平泉町高齢者保健福祉推進特別事業助成金・150,000円)

ボランティア団体連絡協議会事務局受託。

- ・所属団体数 15団体
- ・各種会議等の資料作成、開催案内、記録作成等
(総会、役員会、決算監査会、など)

・ボランティア活動支援

ボランティア団体に活動資金の助成を行いました。(5団体計150,000円)

- <活動資金斡旋団体>
- ・アップルレディース
 - ・JAいわて平泉ハートフル平泉支部
 - ・さくらの会
 - ・傾聴ボランティアeはあとの会
 - ・ボランティア団体連絡協議会

(2) 障がい者福祉活動事業

心身の不自由な児童(者)を守り、その福祉向上普及に努めることを目的とする「平泉町手をつなぐ会」の事務局受託。

- ・平泉町手をつなぐ会 会員 24名
- ・総会、役員会、決算監査会の資料作成案内通知、記録作成等

(3) 身体障害者支援活動事業

平泉町身体障害者協議会の事務局受託。

- ・平泉町身体障害者協議会 会員 10名
- ・役員・班長会議の資料作成案内通知、記録作成等
- ・親睦旅行の企画開催
- ・岩手県障がい者文化芸術祭、障がい者スポーツ大会等各種イベント
引率参加

7. 介護保険等事業

(1) 訪問介護

要介護および要支援と認定された高齢者などに対し、訪問介護員が家庭を訪問し、家事援助や身体介護を行いました。

- ・対象者 32人 (令和4年3月31日現在)
- ※月平均対象者 32人
- ・訪問回数 年間 5,254回

(2) 障がい者福祉サービス

障がいのある方に対し、訪問介護員が家庭を訪問し、家事援助や身体介護を行いました。

- ・対象者 3人 (令和4年3月31日現在)
- ※月平均対象者 2.3人
- ・訪問回数 年間 212回

(3) 移動支援 (一関市受託事業受託金・296,420円

平泉町受託事業受託金・292,920円)

障がいのある方等が円滑に外出できるよう支援・サービスを行いました。

- ・対象者 一関市3人 平泉町3人
- ※月平均利用者 3.4人
- ・訪問回数 年間 143回